

## 表題：第4回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会 概要

- 1 日 時 平成27年11月10日（火曜日） 18時30分から20時15分
- 2 場 所 町民会館 第1会議室
- 3 出席者 （委員） ※敬称略  
石川かず子、加戸佐織、香取幸子、島崎亜紀子、島崎隆太郎、中沢清、  
野本多恵子  
（協働施策推進アドバイザー）  
辻山幸宣（財地方自治総合研究所所長）  
（事務局）  
横澤和也（住民部長）、古川実（住民部地域課長）、  
水村探太郎（住民部地域課地域係長）、吉岡佐知代（住民部地域課地域係主任）  
堂垣祐介（住民部地域課地域係主事）
- 4 欠席者 清水久央、中居樹里
- 5 議 題
  - 1 出会いの場づくりについて
  - 2 協働フォーラムについて
  - 3 その他
- 6 配付資料
  - 1 次第
  - 2 出会いの場づくりについて
  - 3 平成27年度スケジュール
  - 4 第3回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会会議録
  - 5 チラシのリニューアルについて
  - 6 コミュニティ振興計画見直し案（当日配付）
  - 7 町民会館ホール平面図（当日配付）
- 7 開会  
加戸委員長
- 8 議題1 出会いの場づくりについて  
水村係長から  
資料の確認及び説明

### 出会いの場づくりに関する議論

- ・町は協働の窓口を設けてPRするだけでなく、実際に地域に出ていき住民と交流しながら協働を広めていく必要があるのではないか。受け身ではなく、積極的に行動し、良い人材とマッチングする機会を増やすことが重要ではないか。
- ・住民が協働という手段を知らずに、なにかやってみたいと思っても、相談場所ややり方等が分からずに躊躇している場合があると思われる。このような状況を解決するために、職員は地域の方と話をしながら何に困っているかを聞き、役場のどの部署と協働できるか

を伝えたり、町ができそうなことを明確にし、説明する必要がある。

- ・協働の窓口は地域課だとしても、地域課だけで動くのではなく、他課も同じような視点を持ち、行政の中に協働の意識を浸透させていかなければならない。

## 議題2 協働フォーラムについて

### 協働フォーラムに関する議論

- ・協働フォーラム当日の大まかなタイムスケジュールについて議論し、午前中にフォーラムを行うこととした。理由としては、丸々1日だと長すぎて、来場者が飽きてしまう恐れが考えられるため。
- ・委員一人ひとりからフォーラムの全体イメージについての意見をもらい、後日、事務局が意見をまとめ、タイムスケジュールとして次回の委員会に諮り、決定する。
- ・今回の委員会では、フォーラムの全体像について議論し、委員それぞれが思い描いていることを発表したことにより、イメージが共有された。最終的には、一番初めに総論があって、その後、各班での分科会を行うこととなった。
- ・各班の分科会での構成について、A班は実際にサロンを運営している野本さんの講演や参加者からの質問に答えるということを想定している。また、サロンで実施したアンケート結果について集計したものや、サロン活動の写真などを掲示する予定。B班は、中沢さんを中心に長岡平地林整備について活動内容を紹介し、参加者からの個別の質問にも答え、フォーラム後は現地見学で平地林ウォーキングの実施も検討中である。
- ・フォーラムを堅苦しい感じにせず、楽しい雰囲気、様々な世代の方に興味をもってもらえるようなものにし、協働とは何かを少しでも理解していただきたい。

## 議題3 その他

事務局水村係長から

- ・協働チラシのリニューアルについて
- ・瑞穂町コミュニティ振興計画の改訂について
- ・次回の委員会の日程確認